

ダイバーシティ事業 国際共同研究PI養成 事前調査プログラム  
報告書

報告日：2019年4月1日

派遣者所属名	先端融合研究環
派遣者氏名	片岡 沙都紀
<p>3月11日から17日の期間、ダイバーシティ事業・女性研究者海外派遣・招聘（PI養成事前調査）プログラムにおいて、英国 Imperial College London の Richard J. Jardine教授のもとで、海底資源掘削時に起こりえる地盤沈下などの可能性を考慮した地盤安定性評価に関する当該機関での研究について伺ってきた。Jardine教授の研究チームではこれまでに、北海海域での石油等の資源採掘時に海底地盤とリグの摩擦力や掘削に伴う海底地盤の局所的な強度低下等を踏まえた上で、当該海底地盤がどの程度不安定化するかなどといったことを検討している。この研究内容は、申請者が現在検討しているメタンハイドレート賦存地盤での資源採取時に起こりえる海底表層地盤の地すべりや地盤沈下などへの影響を考慮した安定性の評価方法に繋がるものがあり、当該研究チームとのdiscussionで有益な情報を得ることができた。</p> <p>さらに今回の事前調査では、Jardine教授の紹介を受け、Universal College London の Matthew Richard Coop教授および同教授の研究スタッフらにお会いし、Coop教授の研究スタッフたちと交流を行うとともに同研究グループが実施している地盤安定性評価に向けた各種実験についてお話を伺った。</p> <p>以上のように、当初計画していた海底の地盤安定性評価に関する研究のみではなく、英国で現在進めている地盤工学に関する研究について直接お伺いし、今後の申請者との共同研究の可能性について検討することができた。</p>	

海外派遣終了後の研究の進捗状況（2020年2月現在）

現在育休につき研究がストップしている状況であるが、復職次第今回実施した共同研究が進められるように関係機関とコンタクトをとりながら研究を遂行していく予定としている。